

四国の川を考える会助成事業報告書

1. 活動またはイベント名：「学んで遊ぼう、鮎喰川。」
2. 主催：「徳島の川に親しむダンスの会」（四国大学）
後援：徳島県、吉野川交流推進会議、
助成：四国の川を考える会
3. 開催日時：2022年7月31日(日) 13時～16時
・地元の人から川のお話を聞いて川を学ぶ
・川遊び（竹水鉄砲・水中ボール入れ・水中ダンス・ストーンアート）
4. 開催場所：鮎喰川(神山町下分栗生野)／「てくてく栗生野」付近の水辺
5. 参加人数：104名（子供52名・大人32名・スタッフ20名）
6. 目的：
子ども達や保護者を対象に、川で楽しく遊びながら川を学び知るイベントを通して、「川」や「自然」と触れ合いながら、川文化を育み自然と共存していこうとする意識を育てることが出来た。
7. 内容：
県内の子どもたちやその保護者と共に川に入り、川の話や様々な川レクを通して、「川」の魅力を実感してもらうイベントである。『てくてく栗生野』の施設長さんに「川」に纏わる話や水防の話を伺った後、水中ダンスや、水中玉入れ、水中宝探しなど様々な川レクリエーションを指導した。その後、河原の石アート体験を実施。川遊びが少なくなっている子ども達や保護者にその楽しさとこれからの川との付き合いについて考えていただける切っ掛けにしてもらった。
8. PRポイント：
県内の子どもたちや保護者、そして若い学生と一緒にする楽しい活動は、「川」の魅力に気づき、「自然」と「人」との繋がりや「文化」について理解できた。同時に仲間同士の絆を育め、活動全般を通して水防の大切さも身につけられた。

※資料 イベント当日写真

1 イベント開会式



2 水中散策





3 水中玉入れ





4 水中ダンス





6 ストーンアート



7 参加の子ども達と集合写真



追伸：コロナ禍でしたが、野外でのイベントであることで実行しました。当日、受付でのチェック（検温・手指消毒・住所や連絡先の確認等、感染対策）を行うとともに、参加者への注意喚起を徹底することで無事に終了致しました。怪我・事故等も無しです。

以上、「2022 遊んで学ぼう、鮎喰川。」の報告を終わります。